

おきなわ県民カレッジ第6回美ら島沖縄学講座

「古文書の読み方 パート2」

レジュメ P7 「願意の控え」について

*時間の都合により最後までお伝えできなかった、「読み下し文」「現代語訳」について麻生先生よりご教示がありました。

読み下し

願意之扣

上様、御三拾三金御性の卯、此の節、重大の御國事に礎と御憂慮遊ばされ、御胸中御塞り、御飲食も御進み兼ね、至極驚き痛み仕り申す事御座候間、早々御平癒偏えに御祐護仰せ奉り候事、

光緒元年乙亥五月吉祥日

現代日本語訳

願意之扣

上様は御三十三金御性の卯に当たる。今回、重大の御国事に（当面し）すっかりと御憂慮され、御胸中も塞がり、御飲食も進みかねているので、（わたしは）非常に驚いて心痛しているので、すぐに御平癒なされるようひたすらに御祐護くださるよう仰せいただきたい。

光緒元年乙亥五月吉祥日